

備前市事務事業評価シート

(平成23年度事業)

事業の概要		事業開始年度	昭和46年	根拠法令・例規等	備前市栄養委員会規則	
総合計画	大項目	基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり	問	担当課(室)	保健課
	中項目	基本施策	06 健康でやさしさあふれるまちづくり		職・氏名	健康係長・春名美郎
	小項目	施策	06 健康づくり		電話	64-1820
事務事業名		02	栄養委員会事業	合先	このシート作成に要した時間	2.0 時間

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	栄養委員	事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価
目的(何のために)	市民の健康づくりをすすめるための「健康づくり(栄養改善)ボランティア」として育成する。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	委員が自らの健康課題に気づき、地域の健康づくりリーダーとして栄養改善事業、地域づくりに取り組むことで、市民の健康づくり意識の向上を図る。	

事業の実績		Do		
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度	
	栄養委員会事業	健康づくりを推進する「健康づくり(栄養改善)ボランティア」として、市長の委嘱を受けた栄養委員を育成し、市民の健康増進を図る。 伝達講習会(親子料理教室)、減塩普及事業 他組織(教育機関、保育園、地域の団体等)と連携した食育事業		

決算額	事業費等		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績			
	事業費	直接事業費	千円	2,059	2,757	2,738			
	必要人員費	人員費	千円	1.55人	11,127	1.29人	9,101	1.36人	10,186
	事業費	事業費	千円	13,186	11,858	12,924			
	財源	国	支出金						
		受	益者負担						
		繰	入金						
		市	債						
		その他()							
		一般財源		13,186	11,858	12,924			
	受益者負担比率	%	-	-	-				
結果指標名		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績				
結果指標	結果指標量	人	1,950	1,766	1,730				
	対前年比	%	-	90.6%	98.0%				
	活動コスト	円	13,186,000	11,858,000	12,924,000				
	単位当たりコスト	円	6,762	6,715	7,471				

事業の成果		年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度目標値
市総会、地区総会、栄養委員研修会(3s)の平均参加率	成果指標名	目標値(A)	85	85	85	85
		実績値(B)	83	85	82	到達目標値
		達成率(B/A)	97.65%	100.00%	96.47%	85
成果指標設定の考え方・式や説明						
市総会、地区総会、栄養委員研修会(3s)の参加平均人数/栄養委員会委員数(208人) * 100		H24	207人			
H21年 (867÷5)/208 * 100=83		H22年 (883÷5)/208 * 100=85	H23年 (849÷5)/207 * 100=82			

事務事業の評価		該当する項目を から へ へ へ 「コピー」して「貼り付け」してください	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い B
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い B
	目的達成度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い B

進行年度(H24年度)の改革改善内容	
状況	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
説明	栄養委員活動が地域で食育を推進する上で大切な役割があるという認識を一人でも多くの委員に波及するよう支援し、委員の参加とやりがいに繋げる。また委員のニーズを調査し研修会に取り入れ、参加率向上を目指す。

総合評価		総合評価
委員が地域で色々な団体や組織と連携して食育を推進することが、備前市の健康づくりにつながっている。委員の就労の割合が年々増加しており、出席しやすい研修会を計画するとともに、委員が「参加したい」と思えるような研修会を企画検討していく必要がある。		A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い B

平成25年度の方向性・取組目標		Action
方向性	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了	
取組目標	改選期であるため、栄養委員研修会を実施する意義や目的を十分に説明するとともに、委員のニーズにあった研修会を委員と共に企画していく。また引き続き参加率向上をめざし、栄養委員自身が食育推進リーダーとしての役割が認識でき、やりがいを感ずるよう活動できるよう支援していく。	



事業の目的やその数値目標を評価する